

学術団体名：公益社団法人 化学工学会
学術刊行物の名称：Journal of Chemical Engineering of Japan
事業期間：平成29（2017）年度～令和3（2021）年度

1 取組の概要

・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

Journal of Chemical Engineering of Japan (JCEJ)は、1968年の創刊以来、化学工学会が発行している英語原著論文集で、化学工学分野の研究の発展に寄与している。この発表論文を世界にあまねく配信することにより、国際社会におけるJCEJの知名度・認知度を高め、国際的な化学工学の発展と学術交流に貢献することが本取組の目的である。

具体的な取組としては、編集委員会が特に優れていると認定する論文について、Editor's Choice論文としてオープンアクセス(OA)化する。Journal ReviewもOA論文として、その掲載数を増やすことにより本取組みを広げ、宣伝にも力を入れる。

・応募時に設定した取組の目標・評価指標

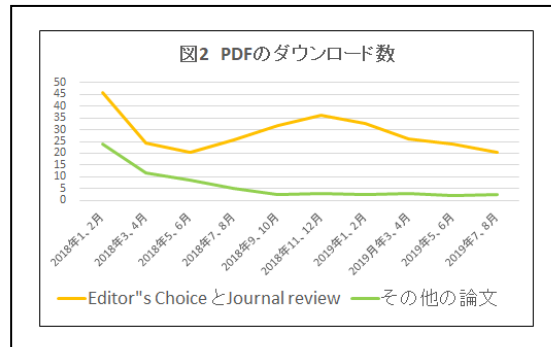
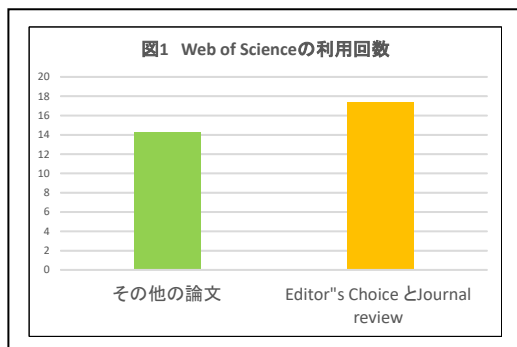
編集委員会が特に優れていると認定する論文について、JCEJの出版費負担によりオープンアクセス(OA)化する。その出版費は本科研費を充当して無料とし、5年の間に「優良論文はJCEJに投稿する」という認知を広げる。Editor's Choiceに選定されたOA論文およびOA論文として出版したJournal Reviewが、出版後JCEJのアクセス数をどれだけ増加したかを検証するため、この指数を使い当該論文のアクセス数を分析し、戦略的な出版方針を策定する。

2 目標の達成状況

・現在までの目標の達成状況

2017年にJCEJに掲載された123件のうち、Editor's Choiceは3件、Journal Reviewは2件である。それら5件とそれ以外の論文のアクセス状況を比較した。図1はWeb of Science上の利用回数の平均値である。Editor's ChoiceとJournal Reviewの掲載時から現在までのWeb of Science上の利用回数の平均値は17.4回、対してそれ以外の論文の利用回数は14.3回となっており、高品質の論文を選択的にOA化するシステムを構築できたといえる。

図2はJ-Stage上のPDFダウンロード数である。平成29年に出版したEditor's Choice とJournal reviewの平成30年の平均ダウンロード数が185回であり、その他の論文の平均ダウンロード数は55回であった。平成30年+令和1年8月には、その他の論文の平均ダウンロード数は65件であり、前年と有意な変化がみられなかったが、Editor's ChoiceとJournal reviewの288回と大幅に伸びており、本取組によってJCEJの認知度が順調に向上しつつある。



・今後の計画

引き続き Editor's Choice の選定、Journal Review の掲載数増大に向けて取り組みを進める。単に OA 論文の掲載数を増やすだけではアクセスは大幅に向上しないので、OA 論文の効率的な宣伝方法を検討する。また、2017 年、2018 年に出版した OA 論文のアクセス解析を行い、その結果に基づいて JCEJ の新たな編集方針を検討し、国際的な化学工学の発展と学術交流に一層貢献するジャーナルを目指す。